

1	三瀬谷駅の裏に出入り口は設置できないのか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 以前に、佐原区や弥起井区からの要望を受け、JRと協議を行った結果、南北を結ぶ跨線橋の建設が便利であることは理解されているが、工事費用や維持管理費が高額になるため、現段階では事業として取り組むのは難しいとの判断であった。	
	相可駅のような出入り口だけ作ることが安全管理上無理なのか。		(戦略企画課長) JRと協議したが、跨線橋も踏切の設置も難しいとの回答。	
	三瀬谷駅裏口の出入り口だけを人が通れるようになればいいと思うが、相可駅はどんな経緯になっているのか。		(戦略企画課長) 三瀬谷駅と相可駅の違いは、線路を跨がずに行けること、三瀬谷駅の場合は、その線路の上に踏切を設置することになるため、JR側としては許可できないとのこと。 役場としても、あれば便利であることは理解している。その他良い案があれば検討していく。	
2	小学校の登下校について、暑い日にバスやタクシーを使うことはできないのか	子ども教育課	(子ども教育課長) 学校内での活動では暑さ指数が31を超えると原則、屋外活動を中止するルールがある、通学については現在ルールが無いため、他の市町の事例等を参考にしながら、検討を進める。	
	登下校についても野外活動のように暑さ対策に係るルールを作って子どもを守るということで、早急に対策を取ってほしい。		(教育長) 熱中症警戒アラートが出ている状況も把握しており、登下校についても対策が必要だと話している。校長会で相談をして、どのような対応をするか話し合う。また、町でも熱中症対策ガイドラインを策定しようとしており、その案も含めながら考えていく。	
3	猿の撃退について、サルヨラーズ以外でも何かいいのがありましたら、ぜひ教えていただきたい。	産業課	(産業課長) サルヨラーズの効果をモニタリングするため無償配布したが、期待しているほどの効果は残念ながらような結果であった。量販店のロケット花火はあまり効果がないようだが、伊勢の煙火店が販売しているロケット花火は音が大きく量販店のものよりは効果はあるらしいとのことである。また、サルは山際まで追い払うだけでなく、山の中まで執拗に追うと効果が上がるようである。専門家にも話を聞き、今後紹介できるものがあれば周知する。 また、音を鳴らす際は、近隣住民に配慮していただきたい。	
4	VISONは県外からも観光客が多い。大台町をPRする絶好の場であるため、大台町フェアのようなものを今後も開催するのか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 5町で作ったポータルサイトや観光案内を行う美村パスポートのPRを行った。フェアの結果がどのように出たかは現段階では持ち合わせていない。	
	大台町PRイベントを複数回開催することで、大台町の良さが伝わっていくと思う。今後の開催を期待する。		(戦略企画課長) 機会があれば今後も、フェア等を開いて町をPRしていく。	
5	高齢者の活動について、大台町高齢者クラブがある。町から補助金をもらうことで、町の活性化になるのでは。	福祉課	(福祉課長) 高齢者クラブで新しい取組を始められたということ、またグラウンドゴルフ大会なども開催され、町としても、高齢者クラブに補助金を出している。今後も高齢者クラブの方の意見を聞きながら支援を行う。	
6	町内への広報手段として、運営費がほとんどかからないLINEを活用してはどうか。 産業課は小さなことでも積極的に町民に情報共有してくれる。他の課へも広げてもらいたい。	戦略企画課	(戦略企画課長) 町では、おおだいナビを推奨しているが、見てもらわないと意味がない。防災行政無線と同時に流して、内容を確認してもらう。また、高齢者向けのスマホ教室等でも使い方の説明をしたりもしている。今後も防災行政無線とおおだいナビの2つの広報手段を併用しながら進めていく。	
		産業課	(産業課長) イベントや企画に関するテレビ取材について、協力したテレビ会社から放映日を確認し、できる限り地域の皆様に周知するように努める。突発的な取材などがあるため、全てを紹介することは難しいですが、大台町の紹介につながる機会として重要視している。今後もこの取組を継続していく。	
	おおだいナビは費用的にはどうなのか、LINEであればほとんどかからない。	総務課	(総務課特命監) おおだいナビの保守費用は85万8000円ほどで、アプリの町内導入率は21％程度である。今後は普及促進のため自治会のイベントなどで周知をしていく。おおだいナビは緊急時、アプリの表示が変わり、一目で情報がとれるようになっている。	
7	昴学園に対し、町の官公庁や企業は求人募集をしているのか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 過去3年間では、奥伊勢フォレストピア、大台町社会福祉協議会、あけあい会、伊勢ゴム等への就職を認識している。 役場の職員募集については、学校へ募集要項を送っている。	
	2年前に種子島から昴学園高等学校に留学生が来て、去年は東京からの留学生が町の空き家バンクを調査し、大臣賞を受賞した。少人数でもこのような出来事は大きな意義があると感じている。卒業生が町に残ることが重要であり、役場や企業が若者を積極的に誘致し、PRすることが求められている。少しでも若者が残ることが、町の活性化につながるのでは。		(戦略企画課長) 現在も東京から来た生徒と連絡を取っている。その生徒は今も東京都に在学しているが、昨年に地方創生アイデアコンテストで大臣賞を受賞したアイデアの施策実現に向けてやり取りを続けている。町では、昴学園高等学校だけでなく全ての高校生に職員募集を知らせることが公平だと考え、広報を通じて情報を発信している。昴学園高等学校が町内唯一の高校であるため、求人要項を個別に学校に送付している。	

8	岸議員の議会報告では、大台町にある昴学園高等学校の支援について議論が必要であると述べている。町の唯一の高等学校としての重要性を認識し、町民や議会との意見交換を重視しながら、地域の若者を支援する施策を考える必要がある。	戦略企画課	(戦略企画課長) 昴学園高等学校に対する補助金は、主に寮生の宿泊補助であり、議員からの質問に対し、昨年、その補助金が3倍に増加したことを報告した。これは、閉寮時に自宅へ帰れない県外生が、保証人宅へ宿泊した際の支援についての取組の一環である。また、町内に留まる就職問題についても意識しつつ、生徒が町民の家に泊まる体験を通じて、町に親しみを持つことが、将来的に大台町を訪れる関係人口の創出につながると感じている。	
9	平成28年12月にできた観光協会の規約は現在も有効か。また、会員一覧の閲覧が一昨年からできなくなったことに困惑し、観光協会の担当者にも尋ねたが、回答が得られなかった。特に、自分の所属団体が支援会員であり、規約には会員一覧を常に閲覧できるようにすると書かれているため、その情報がどうなっているのか、現行の規約の状況や会員一覧の閲覧について教えてほしい。観光協会は町が運営しているため、町民への情報開示が必要では。	産業課	(産業課長) 平成30年に観光協会の運営方法が見直され、事務局について、役場から商工会へ移した。この変更により観光協会の運営がよりスムーズになったと考えている。 事務局移行後は観光協会の財源は町から100%出資している。観光協会の収支については、一般会員や賛助会員には公開しているが、一般の方々に公開しているかまでは把握していないため、再度確認のうえ、ご連絡する。	観光協会の規約を確認のうえ商工会と協議し、今後は随時、情報開示してまいります。
	商工会に入っている人は自動的に観光協会の会員になるが、その他の支援会員や賛助会員について知りたくても、誰も知らない。規約については閲覧など是可以なのか。		(産業課長) 規約については、提供させていただく。また観光協会と相談し、総会資料や決算資料を個人情報を含まない範囲で提供できるか確認し、ご報告する。	個人情報を含まない範囲で、情報提供しました。
10	商工会が発行するグルメマップの情報が古い。観光客が訪れたときに情報が不足しているのではないかな。 また、第3セクター関連で、フォレストピアや宮川物産のイベントや収支などを回覧で回せないのか。	産業課	(産業課長) グルメマップについて、令和2年度に商工会が国の補助金を活用し作成したもので、3年ごとに見直しを行う計画である。今年度、観光協会では予算90万円でグルメマップの更新を計画しており、1,500部の発行を予定している。 また、第3セクターの情報発信に関しては、回覧の場合、500部程度の印刷が必要なため、第三セクターと情報発信について協議し検討を進めていく。	
	宮川物産や森の番人の商品があまり知られていない。チラシなどを用いてPRすることが大事では。		(産業課長) おおだいナビ等のデジタル媒体での周知も考慮し、前向きに検討する。	
11	字境界看板について栗生-高奈間や下三瀬-高奈間など見にくい場所がある。以前役場にも相談したがどうなったのか。	戦略企画課	(戦略企画課長) 以前から、看板が見にくいことは把握しており、伐採を試みたが伐採できなかったため、予算化し、今年度中に伐採するように計画している。	
12	獣害問題について、JRや国道、高速道路周辺が、雑草や雑木で荒れており、緩衝地帯が適切に管理されていないため、獣害を引き起こす原因となっている。	建設上下水道課	(建設上下水道課長) 県道については、以前は年2回の草刈りが行われていたが、予算確保が厳しく、県下統一年2回に減少している。	